

## 令和元年度 (一社) 茨城県建設業協会との意見交換会 回答趣旨 (1/2)

項 目	回 答 趣 旨
1. 公共事業予算の安定的・継続的な確保と県内企業の受注機会の確保について	<p>社会資本の整備は未来への投資であり、質の高い社会資本ストックを将来世代に引き継いでいくためには、必要な公共事業予算を安定的・持続的に確保することが不可欠と考えております。</p> <p>昨年12月には、「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」として、特に緊急に実施すべきハード・ソフト対策について、平成30年度の2次補正予算から3カ年で集中的に実施していくことが決定されました。全体で約7兆円の事業規模に対し、2年目となる令和元年度までに約5兆円を確保することとしており、概ね順調に進捗しているところです。</p> <p>関東地方整備局としても、平成30年度の2次補正予算で2,965億円、今年度当初予算で20,942億円が配分され、前年度比1.09倍となっております。茨城県における直轄事業予算配分額（地方負担対象額の事業費）についても、令和元年度の当初予算において、前年度比1.17倍、補助事業予算配分額についても、前年度比1.13倍となっています。</p> <p>防災・減災、老朽化対策をはじめとする諸課題にしっかりと対応できるよう、必要な予算を確保するよう努めて参ります。</p>
2. i-Constructionの取り組みについて	<p>■コンクリート工の規格の標準化等、特にプレキャストコンクリート製品の活用について、及び現場打ちコンクリート構造物に適用する機械式鉄筋継手工法の活用について、現状の推進状況</p> <p>「規格の標準化」については、施工の効率化を図る技術を導入・活用するためのガイドラインを整備することで、技術の普及・促進に努めているところです。</p> <p>平成30年度までに、機械式鉄筋継手工法等の要素技術のガイドライン、埋設型枠・プレハブ鉄筋に関するガイドライン、コンクリート橋のプレキャスト化ガイドライン等の策定がされました。</p> <p>プレキャストコンクリート製品及び機械式鉄筋継手等については、ガイドラインに基づき設計・施工がなされているところです。ガイドライン策定以前に設計されたものについては機械式鉄筋継手等が採用されていないものもありますが、設計変更にて対応しているところですので、協議していただきたいと思っております。</p>
3. 概略設計について	<p>■工事発注前に設計精度の向上を図られますよう、ご検討</p> <p>補正予算による工事等、早期工事発注・早期完成が特に求められる工事において、発注時に詳細設計が未完了で詳細仕様が未確定の場合には、概略設計（標準断面）にもとづき概算数量による工事発注方式等を活用しており、この場合においても、適切な概算数量の設定及び条件明示をすることとしております。</p> <p>詳細設計の結果、必要に応じ、数量や工種の追加・変更等となる場合もありますが、設計変更にあたっては、発注者と受注者が一堂に会して、設計変更審査会を開催し、設計変更について妥当性の審議を行うとともに合意形成を図り、適切な設計変更（契約変更）をすることとしております。</p> <p>ご意見を踏まえ、工事発注にあたり、工事内容や設計等の精査に努めて参ります。</p>

令和元年度 (一社) 茨城県建設業協会との意見交換会 回答趣旨 (2 / 2)

項 目	回 答 趣 旨
<p>4. 女性技術者活躍のための取り組みについて</p>	<p><b>■女性活躍の取組をさらに進めるため、新たな計画策定に着手され、意見聴取会などを通じ、12月に振興策を取りまとめると伺っております。新計画におきましては、従来以上にハード、ソフト両面におきまして支援策の充実・強化を図っていただきますようお願い</b></p> <p>建設業関連5団体と共同で「もっと女性が活躍できる建設業行動計画」を策定してから5年目を迎えた本年は、これまでの取組成果や課題等の整理を行うとともに、この取組をさらに一段進めるための新計画の策定に向け、各ブロックにおいて、様々な主体の参画を得た意見聴取会を開催したところです。</p> <p>7月12日(金)に開催した関東ブロックでの意見聴取会では、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・将来のキャリアを想像する上で、目標となるロールモデルが現場にいない</li> <li>・建設現場の始業時間は早いため、通常の保育園では預けられない</li> <li>・魅力をアピールするには、やはり高い賃金であることが重要</li> <li>・育児は女性主体で行うものという先入観を全ての世代で取り払う必要</li> </ul> <p>等、実際に活躍されている女性からの生の声として、課題やご意見をいただいたところです。</p> <p>現在、意見聴取会以外にも、アンケートの実施により幅広く意見を収集しているところですが、全国各地の建設業界等には、今回の新計画策定に当たり、各地での女性活躍に向けた取組の機運向上を図ることと併せ、今後の計画実行段階においても中心的な役割を担って頂くことが期待されているところであり、まさに貴協会の取組は、新計画策定に向けた考え方と軌を一にするものと考えております。</p> <p>引き続き、女性活躍の取組について積極的に支援するとともに、新計画における支援策の充実・強化のご要望があったことについては本省にも伝えさせていただきます。</p> <p><b>■女性を積極的に活用している企業への評価等において、優遇するような制度設計につきましても、ご検討くださいますようお願い</b></p> <p>関東地方整備局では、担い手の育成・確保は重要な課題と認識しており、その取り組みの一つ女性又は若手技術者の建設産業への入職促進や就労継続等に向けた環境整備を推進することを目的に、女性技術者等の配置を入札参加要件とした女性技術者・若手技術者の登用を促すモデル工事を施工能力評価型の工事で実施しているところです。</p> <p>また、総合評価の段階選抜方式においては、女性活躍推進法に基づく認定等(えるぼし認定企業等)を始めとするワークライフバランス関連認定制度の認定を受けている企業の加点評価を実施しています。</p> <p>この他、関東地方整備局では、地域インフラサポートプランHPの「女性技術者の活躍・快適な現場環境」のページにおいて、各企業、協会等が取り組んでいる女性技術者の活躍状況を取りまとめ掲載しており、貴協会の取組などを紹介することも可能です。これらの情報発信も含め、引き続き女性技術者活躍の取組を推進して参ります。</p>